

りょう

り

レベル 2

料理力

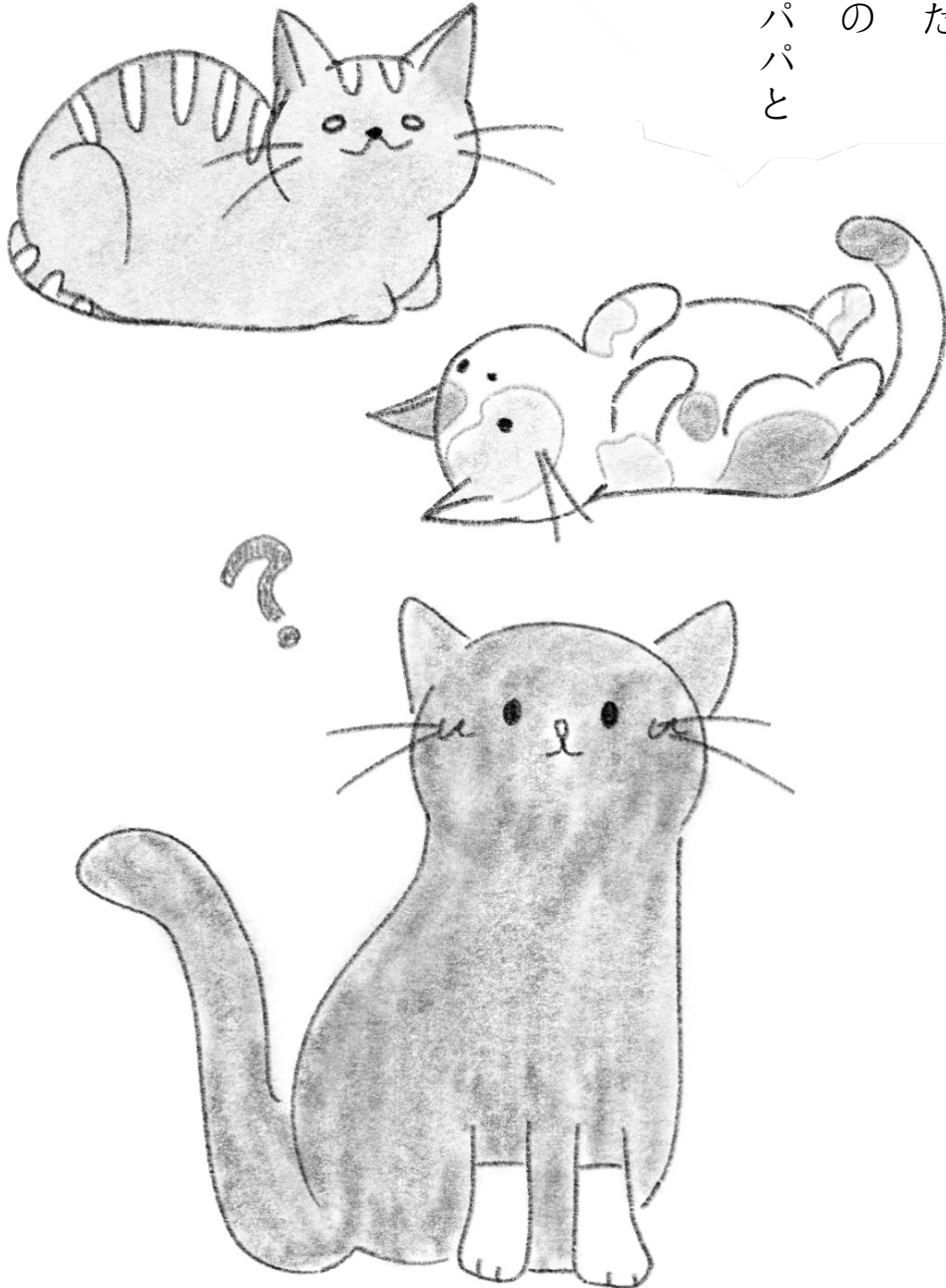


上手な猫

Author & Picture: Dina Cui / スイ デイナ
JAPN1231: Tadoku Spring 2022

「ママ、あの猫可愛すぎる！かいたいんだけど。」
動物保護施設で、女の子は猫
をワクワク見ていました。

「今日はアリアちゃんの
誕生日だね？ちよつとパパと
話して聞く。」
アリアちゃんのマ
マが女の子に答えま
した。



「もしもし？ええ、猫ねこ？いいよ！でも、アリアちゃんじぶんが自分ねこで猫ねこをかわなくちゃだめだね。」

パパがママでんわに電話こたで答えました。

「分かるわ、アリアちゃん？」

ママも聞ききました。

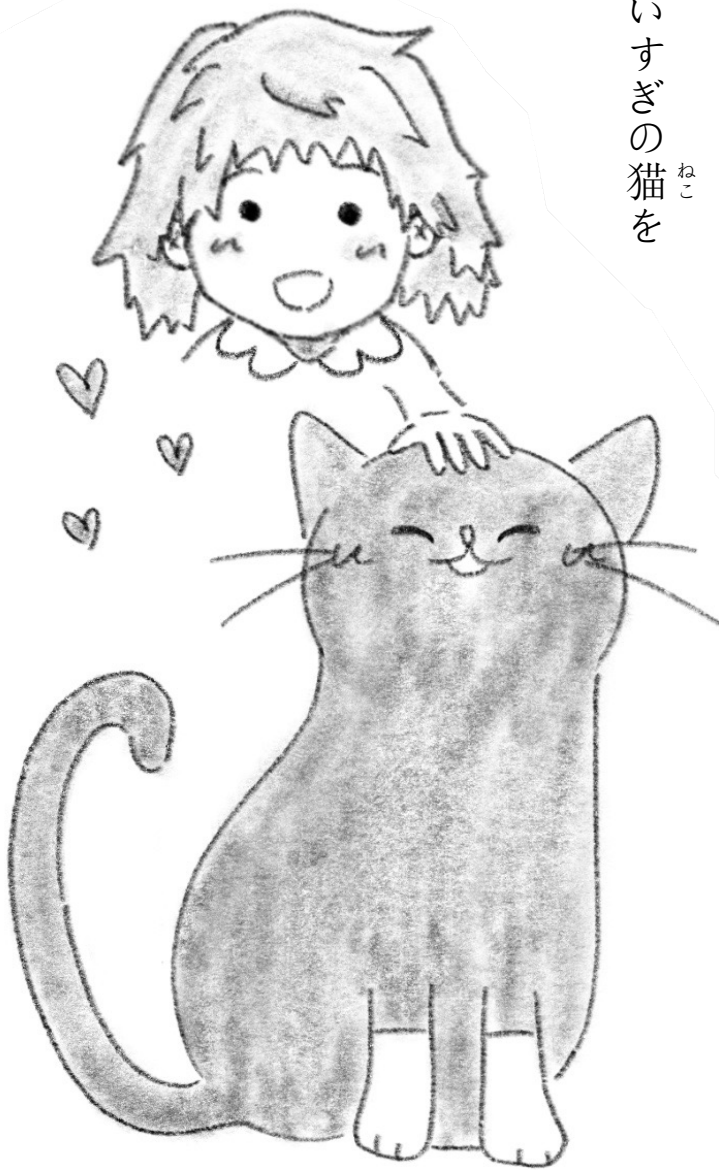
アリアちゃんかわはもう可愛かわいすぎの猫ねこを抱だきしめていました。

「うん、分わかったよ！

私わたしは間違まちがいなく自分じぶんで

かう！」

と言いいました。



アリアちゃんは自分で猫のせわをしてなかったんです。ママとパパはアリアちゃんにたいてい思い出させなければなりませんでした。

「アリアちゃん、カいは餌を食べなくちゃいけないよ！このチャーハンにはカイが食べられないネギが入っているよ！人間の食べ物をやるのはだめだよ！」

ママはアリアちゃんを叱りました。

「分かったよ、ママ！」

アリアちゃんは答えました。でも、

アリアちゃんは今度カイが食べられないポップコーンをボウルに入れました。



「アリアちゃん、なぜカイの水のボウルにチョコレートミルクをやった？カイがチョコレ
ートミルクを飲めない！水をやって下さい！」

パパはアリアちゃんに聞きました。

「分かったよ、パパ！今する！」

アリアちゃんと答えました。でも、今度はカイが飲められないお茶を
入れました。

「ニヤン、ニヤン！」

カイは食べ物物のボウルを見て、泣きました。

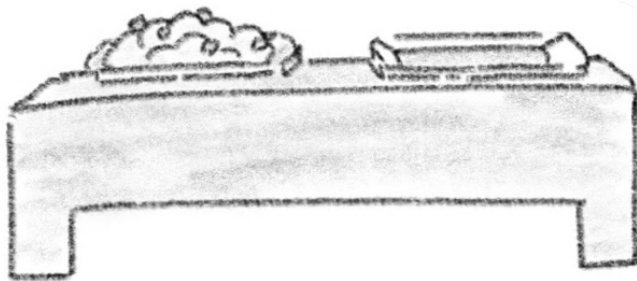
「ニヤン、ニヤン！」

カイは水のボウルを見て、もう一度泣きました。

「分かったよ、カイ！今する！」

アリアちゃんは答えました。

アリアちゃんはいつも忘れしました。



「信じられない！じゃ、あの女の子は私に出来ないなら、自分で

る！」

カイが怒るように言いました。

まず、冷蔵庫から材料を選びました。

「何を食べたいかな」

カイは自分に聞きました。色々な物が美味しそ

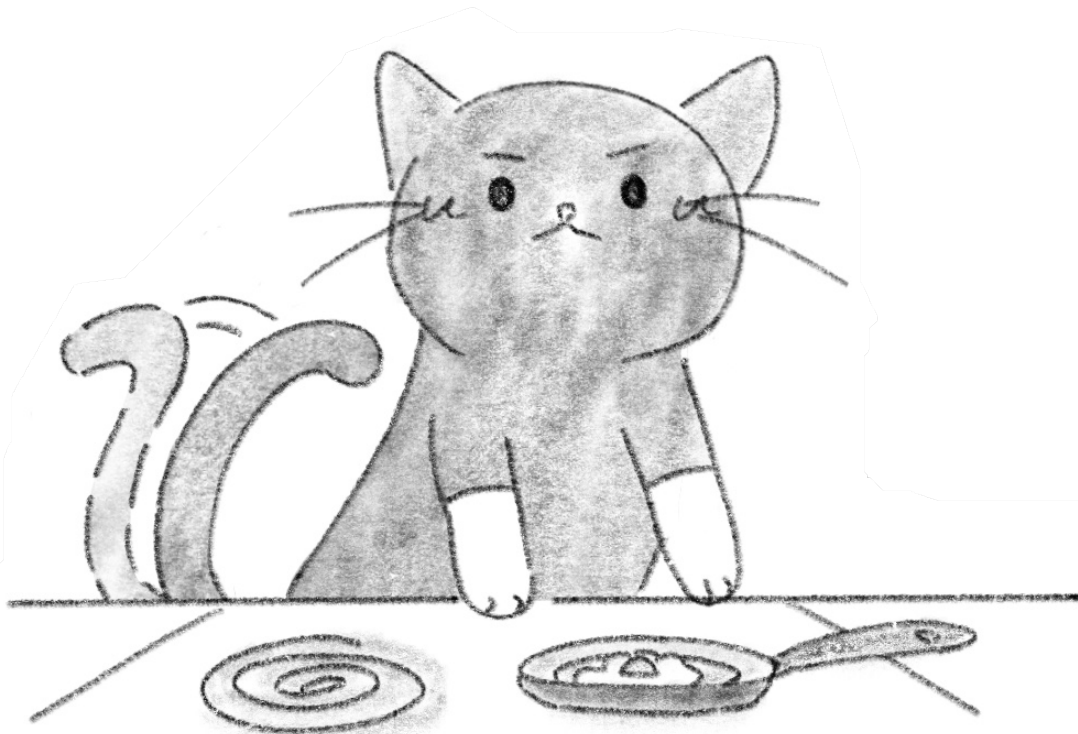
うだったから、鳥肉とサーモンと卵を選びま

した。

次に、ほうちようでチキンとサーモンを小さ

く切って、炒めました。卵を焼きました。

全部の食べ物を皿にのせました。



「うわー、何がその美味しい匂いがするの？」

アリアちゃんが匂いを嗅いで、ついにやって来ました。そして、アリア

ちゃんはカイの食べ物を見て、食べたいと思いました。

突然、カイがフライパンと登場しました。アリアちゃんはすごくびっくりしました！

「え！！カイがこの美味しいそう食べ物を作ったの??」

アリアちゃんはびっくりするように言いました。

「ニヤーン！」

カイの尻尾が揺れていました。

「すごいね！じゃ、私にも食べ物を作ってもいいの？」

アリアちゃんは聞きました。

カイの尻尾がもう一度揺れました。

「ニヤーン。」



アリアちゃんは喜んでカイの料理を待っていました。そして、カイは同じように鳥肉とサ
ーモンと卵たまごを作りました。
「ニャン！」

「終わった？」

アリアちゃんは聞きました。カイは美味しそうな食べ物ものを皿さらに
入れてあげました。

「ありがとう、カイ！」

「ニャン！」

そして、アリアちゃんはカイの料理りょうりを食べてみ
ました。



「えー、これは嫌な味がする！猫の餌の味がする！！」

アリアちゃんは叫びました。

でも、カイは笑っていました。

「カイ、どうして笑っているの？」

アリアちゃんは怒るように聞きました。

「ニヤン？」

カイが何かを見て、それからもう一度アリアちゃんを見

ていました。アリアちゃんはカイが見ていた物も

見て、キッチンテーブルに塩と色々な美味しそ

うなスパイスがありました。



「あ、それはそう！カイは自分で作った食べ物
は塩やスパイスがないんだね？猫が食べられるため
に？」

カイはうなずいて、「はい」と言いました。

「パパとママに言われたんだね。カイ、ごめん！

今度はカイに猫の餌をあげる。だから、私に人間の
食べ物を作っている？」

カイは今度嬉しく笑いました。

「ニヤオ！」

それから、アリアちゃんはいつもカイに猫の餌と
猫が飲める水をやることを覚えました。そして、
時々、カイがアリアちゃんにチェフのように人間
の食べ物を作りました。そして、二人ともいつも
食べ物が美味しいと思いました。

